

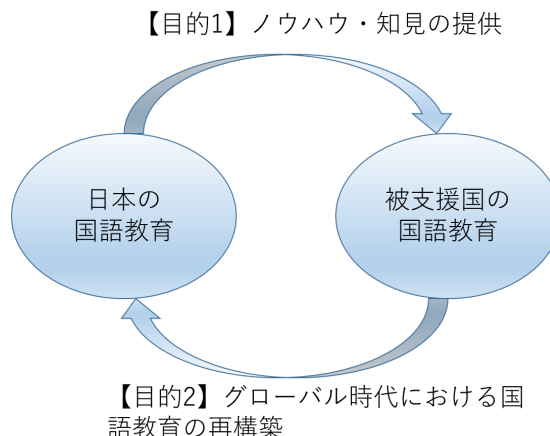


■研究課題名：日本の教育を輸出するーJICA「ミャンマー国教育改革プロジェクト」における国語教育の実際と課題ー
■研究者名、所属：長田友紀（人間系・教育学域）
■研究分野：国語教育学
■キーワード：国語科教育、母語教育、多言語・多文化教育

#### 【研究の背景・目的】

日本の ODA を実施する JICA によって 2014～2019 年まで、ミャンマー国の教育改革のためのプロジェクトが進んでいる。日本の優れた小学校教育をミャンマー国に導入することが目的であり、国家レベルで日本の国語教育を積極的に学ぶ国が初めて登場したのである。ミャンマーの公用語はミャンマー語（ビルマ語）であるが 100 以上の民族が生活する多言語・多文化国家であり、歴史的経緯から英語教育も盛んである。

そのような中で母語教育や公用語としてのミャンマー語科の改善に日本の国語教育の知見が頼りにされている。私は日本から唯一の言語教育アドバイザーとして、ミャンマー国での国語科（ミャンマー語科）学習指導要領、教科書、教師用指導書などの改善に従事している。しかし、日本では理数系の教科などでは海外展開の実績はあっても、国語教育を海外展開するための研究はなく参考になるリソースが存在しない。そこで、  
[目的 1] 日本の国語教育の知見を用いた海外支援のノウハウを蓄積・公開。[目的 2] 海外展開の事例にもとづく、グローバル時代における日本の国語教育の再構築を目指す。



#### 【研究の概要・成果等】

現在、ミャンマー国の母語教育の状況の調査を踏まえ、[目的 1] の G1 から G2 までの国定教科書および教師用指導書の作成支援を終えたところである。

#### 【期待される意義や波及効果等】

多言語・多文化教育は、外国人子弟の増加によって日本でも重要なテーマになりつつある。小学校における英語教育の本格実施により、国語教育も含めた言語教育の在り方が問われている。本研究はミャンマーのためだけでなく、日本にとってもグローバル時代における国語教育の在り方の再構築につながる。

#### 【主な論文・著書・ホームページ等】

・ Yuki OSADA (2017) Analysis of the Contents of Grade 2 National Language Textbook of Myanmar. 人文科教育学会編『人文科教育研究』第 44 号

・ 長田友紀 (2016) 「輸出型国語教育への転換にむけてーミャンマー国での事例をもとにー」 日本読書学会編『読書科学』第 58 巻 3 号